



第8号
令和8年9月8日

国際教養科長
水野豪人

まずは「基本」を守ること

テストが終わりました。普段の学習の成果は発揮できましたか？早いもので、もう夏休みが終わりました。今年度の半分が終わろうとしています。1年生は入学してだいぶ慣れて来た頃だと思います。

何事も基本が大切です。私は中高とテニスをやっていました。テニスを始めていきなり試合をやって勝てる人はいません。ストロークやボレーなどの正しいフォームを日々の練習で身に付け、正確に相手コートにボールを打てるようになって初めて試合で勝てるようになります。それは、学校生活も一緒です。

最近、いろんなところで気の緩みが見えるようになりました。例えば、

- ・授業を受ける姿勢が悪い。聞いていない。別の方を見ている。
- ・学校のルールを守っていない。(化粧やカラーコンタクト、スマホの使用など)
- ・他クラスがテストをやっているときに、教室内で騒ぐ(事前に注意されていたにも関わらず。)などです。

なぜ姿勢が悪いとダメなのか。椅子の背もたれにだらしく背中を預けた姿勢で、人の話など聞けるはずがないからです。人の話を聞くとときは姿勢を正し、相手の目を見て聞くこと。もう一つ大事な点があります。それは相手(話し手)に失礼だからです。逆の立場になってみてください。自分の話を椅子にふんぞり返りながら、下を向いて聞かれたらどんな気持ちになるでしょう？

学校のルールはなぜ守らないといけませんか？服装やルールには、代々学校にいた先生たちと生徒会の生徒の「千高生にはこうあってほしい」という思いが詰まっています。それを、「面倒くさいから」「おしゃれがしたいから」という理由で、勝手に化粧をしたり、ピアスをつけたりしていいわけがありません。意見があるなら、正式な手続きで適切な場で意見をいうこと。

他クラスがテストをやっているときに、なぜ騒いではいけないのか、、、それは考えたら分かりますね？自分がされて嫌なことは、人にも絶対にしないようにしましょう。ポイントは、、、

「自分は人からどう見えているのか」を常に意識して生活すること、です。

「基本」ができていない人は、人から信頼されません。いくら英語ができたり、模試の点数が高くても、基本ができていない人は、そのできていない「基本」の方を批判され、活躍の道は閉ざされます。社会とはそういうものです。でもその通りなのです。頭がよくて英語もできるけど、挨拶をしてくれない人、自分の話を聞いてくれない人、ルールを守れない人を君たちは信用できますか？尊敬できますか？周りの人は、まず“人としての君”を見るのです。だから、「個性」「自分らしさ」「英語力」という前に人としての「基本」を身に付けること。その上で、君たちの個性を遺憾なく発揮してほしいです。

- 挨拶をする
- 相手が何かしてくれたら「ありがとう」と御礼を言う
- 自分が間違っただけをしたら謝る
- 人に迷惑をかけない
- 提出期限(約束)は守る

こういった基本を守ること。そういう人の話をみんなは「聞いてみようかな」と思いますし、先生や周りの大人たちも「この人なら支援してあげたい」と思ってくれます。自分の今までの行いを振り返る機会にしてほしいです。

■ ユニクロ“届けよう、服のチカラ”プロジェクト 経過報告！

7月21日(火)の放課後、および8月21日(金)、第2、3回目となるリーダー会議が行われました。当日は都合がつかないメンバーもいましたが、1～3年生の8名のリーダーが集まり、着々と準備を進めました。

今回は、高校周辺の6つの協力施設(北栄小、高台小、末広小、認定子ども園ひまわり、まちライブラリー、千歳中学校)へ直接出向き、聞き取りを行った結果の共有からスタート。「ポスターの掲示可能なサイズ」や「施設利用者への周知方法」などの情報を持ち寄り、ポスター・チラシのデザインや回収箱の設置スケジュールについて熱い議論が交わされました。

広報をいかにするか、ということについても話し合われました。「人の目を惹きつけるポスターのデザインは何か」「ポスターに載せるべき目で伝わる情報は何か」「逆にチラシにはサイズ指定や注意事項などどこまで細かく入れるべきか」といった、現実的な課題に向き合っていました。限られたスペースの中で「目を引くキャッチーさ」と「正確な情報伝達」という両立させるのが難しい課題に、知恵を絞りながら挑んでいました。その結果、できあがったのが、生徒玄関前にあるチラシとポスターです！夏休みを返上して、リーダーたちは頑張って作成してくれました。そして、すでに6施設に回収箱も設置し、回収が始まっています。みなさんの家にも使わなくなった子ども服はありませんか？ぜひ教養科生として、一緒にできることから協力をお願いします！回収期間は、9月1日(火)～10月16日(金)までです。

そして忘れないでほしいのは、彼らはあくまで「リーダー」であり、千歳高校国際教養科の生徒全員がこのプロジェクトの参加者だということです。プロジェクトの取り組みを家族や周囲に伝えたり、服を持ってきたりすることは誰もが今すぐできることです。全員が「自分たちのプロジェクト」として捉え、できることから協力していきましょう！みなさんの頑張りが、地球のどこかで困っている人たちのためになるのです。

Think Globally, Act Locally! (地球規模で考え、足元から行動せよ！)です。

<リーダー会議の様子>



<ポスターなど作成風景>



<生徒玄関ホールのチラシとポスター>



■ 現役の外務省職員をお招きし、特別講義を行います！

来る9月17日(木)6校時に外務省 大臣官房戦略発信推進室の吉田知里様をお招きし、特別講義をしていただきます。1～3年生の教養科生全員が対象です。内容は、外務省における業務、外国語を生かした仕事についてです。よく教養科の生徒に、将来やりたいことは？と聞くと、「英語を生かした仕事」という答えが返ってくる人が多いです。外務省での仕事は、他国との条約交渉やODAなどの発展途上国の支援など、まさに英語を使用した仕事になります。全員が外務省に勤めたいわけではないでしょうが、「英語を生かした仕事」という観点で、視野を広げる絶好の機会になると思います。積極的に話を聞き、質問することを期待します。(事前アンケートに答えてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました！講師の方にも伝えてあります。)事前に以下のQRコードからアクセスし、資料を見ておいてください。当日の学びが深まりますよ。

1 外務省の組織・業務及び日本の外交政策について

◎「外務省」



◎「楽しく学ぼう！外交という仕事」

(小学生～高校生向け資料)

